

# CANDARとの連携について (続)

鯉渕 (NII)、中野(広大)

# CANDARの実施状況

- CANDARメイン：採択率30%台を厳守
  - メインで採択されるのはある程度チャレンジングで、それなりの権威があるようにしたい
  - 惜しくも落ちたものはワークショップで採択することもある。
- 各ワークショップ：きちんと書かれていて、新たなる知見が得られるものは採択ぐらいの基準
- WANCワークショップ：基本的に学生向け（学生に強く制限はしない）。分野を幅広く考える。
- NCSSワークショップ：無査読ワークショップ。論文の言語も問わない（Abstractは英語）。IEEEには掲載されないが、Bulletin of NCSSとしてネットに論文を公開。

# CANDAR2017からの コミットメント案

- 新トラック案

- SACISIS研究会が新トラックを新設
- Track内の論文の順位付けはTrack内で独自に決定
  - オーガナイザの論文を有利に扱わない。(公平性)
  - Track内で独自にオフライン/オンライン会議はOK
    - 査読結果の集計から、論文の順位付けまでに5日～1週間？
    - 実際にはオフライン会議は難しい？
- 場合によっては、トラック全体の再編も有（現状で投稿に偏りがあるので）

- 新ワークショップ案

- SACISIS研究会の分野に対応するワークショップを新設

- 新トラック + 新ワークショップ

# 課題(CANDAR OC)

Q: SACSYS各研究会の関係者が大挙してTPCになることを, 現在のTPCが許容できるのか?

A: CANDAR2016運営委員会(30min-1h)で説明.

Q: 新トラック案が実際に運用できるか?

A: CANDAR 2016 Track 2 (Architecture and Computer System)内でオン/オフライン会議で順位付け試行?

**2016年8月26日(金) 13:00-17:00@NII(?)**

# 課題(各研究会)

Q: Technical Sponsor の扱い

A: 運営委員の反対が強い場合は、Technical Sponsorになる必要はない。その場合、個人ベースの協力で十分。

Q: Technical Sponsor になると何をするのか？

A: (i) 主査/委員長から運営委員へ「CANDAR TPCの invitation letter」を前向きに考えるよう依頼

(ii) 各専門委員はTPC になることを強制されないが、前向きに考える。

(iii) 意思確認は簡単：EasyChairのシステムで invitation letterをEmailで送り、専門委員は、Accept/Declineを選択する。Acceptした委員だけTPC に登録される。

**OCへのスタッフの提供、論文の投稿ノルマ無**

# スケジュール感(各研究会)

- 2016.8 (or 次回の研究会運営委員会)
  - CANDAR2017の Technical Sponsor について主査、運営委員への説明、特に以下
    - CANDARが「一流レストランを田舎につくっても人はこない。田舎にはファミレスが喜ばれる」方針
    - 様々なレベルのWSと賞がある。
- 2017.1-2
  - CANDAR2017の Technical Sponsorの可否決定
  - 可なら新Trackと Track chair、TPC決定
    - もちろん、現Trackへの合流も有(例:CPSY/ARC Track)
    - TPC Chair
- 2017.7-8
  - Track内論文の査読割り当て、採否決定